

平成25年度 事務事業外部評価結果 集計表

A：事業をさらに推進することが妥当（評価点 4.0以上）

B：事業を現状のまま継続することが妥当（評価点 3.0～3.9）

C：事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要（評価点 2.0～2.9）

D：事業の見直し・休止・廃止について検討が必要（評価点 1.9以下）

※評価点は、7名の委員がそれぞれ妥当性、効率性などについて各事務事業ごとに5点満点で評価したものの平均です。

登録No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
1	組長戸長制度による仮設住宅のマネジメント	4.0	A	仮設住宅入居者の減少や災害公営住宅入居者の増加など、状況変化に応じた制度の見直しが必要だと考えます。
2	被災した障がい者の健康訪問チェック	4.2	A	制度の見直し・新制度への移行を含め、今後も被災者の不安の解消に努めてほしい。
3	被災者の継続的な健康診断と健康相談会	3.6	B	受診率の目標値を設定するなど、事業内容の見直しが必要だと考えます。
4	玉野地区住民の継続的な健康診断	3.9	B	玉野地区住民の不安をなくすため、継続的で積極的な取り組みが必要です。
5	ワンストップサービスでの無料困りごと相談・法律相談	4.0	A	積極的にPRし、事業を継続してください。
6	被災児童等のための放課後児童クラブの設置	3.7	B	「放課後児童クラブ」の拡充も含め事業の再検討が必要です。
7	応急仮設住宅等の災害弱者支援及びPTSD対策のための情報交換	4.0	A	応急仮設住宅廃止後においても適切な情報提供と情報の更新が行われることを望みます。
8	高齢者用共助住宅での生活支援	3.9	B	入居者の生活支援も含め、事業内容を見直しながら、他の地区の見本となるよう取り組んでください。
9	仮設住宅での買物支援と災害弱者生活支援	4.1	A	他の施策との統合・再構築を含め、事業を継続してください。
10	仮設住宅災害弱者への夕食提供	3.9	B	終期の用途を明確にするなど再検討が必要だと考えます。
11	一人暮らし高齢者宅への声かけ訪問と昼食宅配	3.7	B	統一したサービスと住民が積極的に参加できるシステムの導入など、再検討が必要だと考えます。
12	除染計画の推進	4.0	A	市民の安心を確保するため、スピード感をもって取り組んでください。
13	妊婦、中学生以下の外部被ばく線量測定	4.2	A	関係者の理解と協力を得ながら強かに推進してください。
14	リアルタイム自動空間線量測定	4.3	A	原発が完全廃止になるまで、データの蓄積を含め取り組んでください。
15	学校施設の空間線量の測定	4.3	A	測定データは、毎日集約し、管理するべきと考えます。
16	学校給食での放射性物質測定	4.8	A	今後も測定データを管理し安全性を確認し、継続して取り組んでください。
17	ホールボディカウンターによる市民の内部被ばく検診	4.5	A	受診率の向上を目指し継続して取り組んでください。
18	甲状腺対策	4.5	A	検査の実施・結果の管理・情報の周知を徹底するとともに、異常値が出た人に対するフォローを万全に取り組んでください。
19	学校施設での放射性物質の除染	4.2	A	安全安心のため積極的に取り組んでください。
20	生活領域での放射性物質の除染	4.3	A	市内全域の除染が早く進むよう努力してください。
21	玉野地区の農地除染	4.1	A	住民の安心を取り戻すため、目標達成に向け取り組んでください。
22	放射性物質汚染土砂等の仮置	4.2	A	適正で安全な仮置き場の確保に努めてください。
23	NPOと連携した心のケア	4.3	A	心のケアに携わる人材育成も含め、長期的な視野に立って児童・生徒を見守る体制を維持してください。
24	被災中学校ICT機器の導入	3.3	B	ipadを使用している学校を調査研究することが必要と思われます。

平成25年度 事務事業外部評価結果 集計表

A：事業をさらに推進することが妥当（評価点 4.0以上）

B：事業を現状のまま継続することが妥当（評価点 3.0～3.9）

C：事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要（評価点 2.0～2.9）

D：事業の見直し・休止・廃止について検討が必要（評価点 1.9以下）

※評価点は、7名の委員がそれぞれ妥当性、効率性などについて各事務事業ごとに5点満点で評価したものの平均です。

登録No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
25	学力向上を目的とした学校提案型授業等への支援	4.0	A	優れた学校の視察・交流は非常に有効です。あらゆる方法で学力向上に努めてほしい。
26	学力向上のための市独自の講師雇用	4.3	A	講師の採用は難しい局面もあると思うが、強力に取り組む事業と考えます。
27	LVMH子どもアート・メソンの活用	3.6	B	活用方法などソフト面を充実するとともに、施設活用PRなどの広報活動にも力を注いでください。
28	仮設住宅集会所での寺子屋の開催	4.1	A	双方にとって良いシステムですが、あくまでもボランティアですので長期的な支援は考えられません。事業の見直しが必要だと思われます。
29	エルシステムとの連携による小中学生の健やかな教育の支援	4.0	A	小中学生の学力向上のための施策は相馬の発展のためには必要です。今後の支援の打ち切りに備え、市として支援策を講じ、事業を継続してください。
30	災害廃棄物の中間処理と可燃物の焼却	4.6	A	早期に完了するよう事業を強力に推進してください。
31	常磐自動車道、相馬福島道路の早期完成のための支援	4.6	A	一日も早い開通が望まれます。
32	おでかけバスの運行	4.4	A	常に運行経路や時間帯の見直しを行い、利用の利便性の向上に努めてください。
33	高速バスの運行（県事業）	4.6	A	当分の間、運行中止とにならないよう関係団体に働きかけるなど、市民の交通手段の確保に努めてください。
34	農業用機械の運用体制支援	3.9	B	貸与した機械のメンテナンス費用の負担も含めた適正な運用管理体制を徹底してください。
35	いちご水耕栽培施設の整備	4.0	A	整備完了を評価します。今後は、施設の適正な運用管理に努めてください。
36	農業の6次産業化推進	3.9	B	相馬ブランド再生に向けた次世代の農業の形である6次産業化の具体的な取り組み内容を明確にするるとともに、各団体等と連絡調整を図り推進してください。
37	ほ場整備による農業支援	4.0	A	農地が荒れていることは環境にも悪い影響を及ぼすので一日も早く事業が完成するよう努力してください。
38	松川浦漁港共同利用施設の復興整備	4.2	A	放射線との関係もありますが、操業再開に向け、早期整備に努めてください。
39	水産加工流通施設の整備	4.2	A	放射線との関係もありますが、操業再開に向け、早期整備に努めてください。
40	漁労倉庫施設の整備	4.5	A	放射線との関係もありますが、操業再開に向け、早期整備に努めてください。
41	中小企業等グループへの施設等復旧整備補助	3.9	B	補助制度のさらなる活用のため、中小企業等の事業者に対し周知を徹底してください。
42	相馬港コンテナ航路の利活用促進	4.0	A	岸壁や沖防波堤の復旧工事が早く進むことを望みます。高速道路等の未開通等の課題が多く利活用促進が十分でないことが見られますが、仙台港のSUB港として大いに期待しています。
43	雨水の排水対策	4.3	A	松川浦の景観と自然保護など環境に十分配慮しながら、早期完成を目指してください。
44	災害危険区域の土地利用	4.3	A	早期買取を進めるとともに、利活用方法を一日も早く市民に示してほしい。
45	住居移転の促進	4.5	A	すべての移転が一日でも短縮できるよう願っております。
46	災害公営住宅の整備	4.6	A	入居希望者全員が安心して暮らせる住宅の早期整備を望みます。
47	避難道路の整備	4.2	A	新たな道路が完成するまでの間の措置を早急に定めて市民に周知してください。また、住民が利用しやすい道路整備を望みます。
48	磯部コミュニティセンターの建設	4.8	A	地区住民のコミュニティーが図れる施設として期待しています。

平成25年度 事務事業外部評価結果 集計表

A：事業をさらに推進することが妥当（評価点 4.0以上）

B：事業を現状のまま継続することが妥当（評価点 3.0～3.9）

C：事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要（評価点 2.0～2.9）

D：事業の見直し・休止・廃止について検討が必要（評価点 1.9以下）

※評価点は、7名の委員がそれぞれ妥当性、効率性などについて各事務事業ごとに5点満点で評価したものの平均です。

登録No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
49	桜丘小学校屋内運動場の改築	4.7	A	計画に沿った事業進捗を評価します。
50	磯部小学校屋内運動場の改築	4.7	A	計画に沿った事業進捗を評価します。
51	防災情報通信ネットワークの整備	4.5	A	非常時に強く幅広い対応ができるシステムを検討してください。
52	防災備蓄倉庫の整備	4.7	A	さまざまな場面での利活用を期待します。
53	各地区防災拠点の整備	4.7	A	市民の安全・安心確保のため、さらなる利活用を望みます。
54	復興交流支援センターの整備	4.4	A	地区の防災拠点として適した場所であり、早急な整備完了を望みます。
55	再生可能エネルギーの活用策の検討とモデル事業の実施	4.3	A	エネルギー資源としてさらなる普及を目指し取り組んでほしい。
56	新たな公共施設への太陽光発電設備の導入	4.4	A	可能な限り公共施設への導入を望みます。
57	住宅用太陽光発電システム設置への補助	4.2	A	補助が設置への弾みとなるようさらなる充実を望みます。
58	防災協定締結都市との交流連携	4.6	A	情報交換などの連携を深め、観光にも拡大できるよう交流の活発化を目指してください。
59	観光交流の推進	4.0	A	馬陵城やお堀の外回りの景観は、今のままでは人に見てもらえる状況ではないと考えます。現状を詳しく分析し、早急に対策を講じ相馬市観光の復活を目指してほしい。来訪者に対する接客技術の向上に期待します。
60	地域間交流による風評被害払拭・相馬復興のための活動への支援	3.8	B	具体的なことを決めて確実に実行することを期待しています。
61	そうま花火大会と復興交流イベントの開催	4.1	A	継続的な開催を望みます。
62	市民会館の整備	4.7	A	市民の利活用、文教施設の拠点として大いに期待しています。
63	市民会館の利活用	4.5	A	職員はもとより有償ボランティア等も含め、音響・照明機器、備品等を操作できる人材の育成が急務です。適正な管理運営を行い、施設の利活用を促進してください。
64	歴史資料収蔵館の整備	4.2	A	学校教育での利用も含め、関係部署との協議の機会を持つなど、誰でも気軽に足を運べ、相馬市に残されている貴重な資料を多くの人に見て頂く資料館になることを期待します。
65	郷土蔵の建設	4.2	A	外部からの意見を取り入れ独自性を打ち出すなど展示方法を工夫してください。子供たちが手に触れられ、当時の使用方法がイメージできるなど、見てわかり易く楽しい施設を望みます。
66	光陽サッカー場のグラウンドの整備	4.4	A	芝生のメンテナンスなど全体の管理を上手に行ってください。リピーターが増えるようなスポーツツーリズムを期待します。県外の方々へ積極的にPRしてください。
67	音楽を通じた相馬ブランド回復活動への支援	3.8	B	地域の特性や労働唄として民謡は万葉の時代から続いている日本の文化です。口承だけでは普及に限界があります。正調相馬民謡の原点を決め、楽譜おこしをすることがソフト面の事業として長く残ると思います。
68	東日本大震災の資料収集と中間報告の発行	4.4	A	他の機関との連携を強化して正確な、そして詳細な情報を残してください。
69	被災鎮魂祈念館の検討	4.4	A	海との調和・景観を損ねることなく、魂を鎮める場所にふさわしい建造物にしてほしい。
70	行政経営システム（ISO9001）の活用	4.6	A	行政サービスの向上に有効な手段であるので、継続して取り組み、さらなるサービスの向上を目指してください。
71	市庁舎の建設	4.6	A	住民サービスの面からも出来るだけ早く着工・完成を望みます。